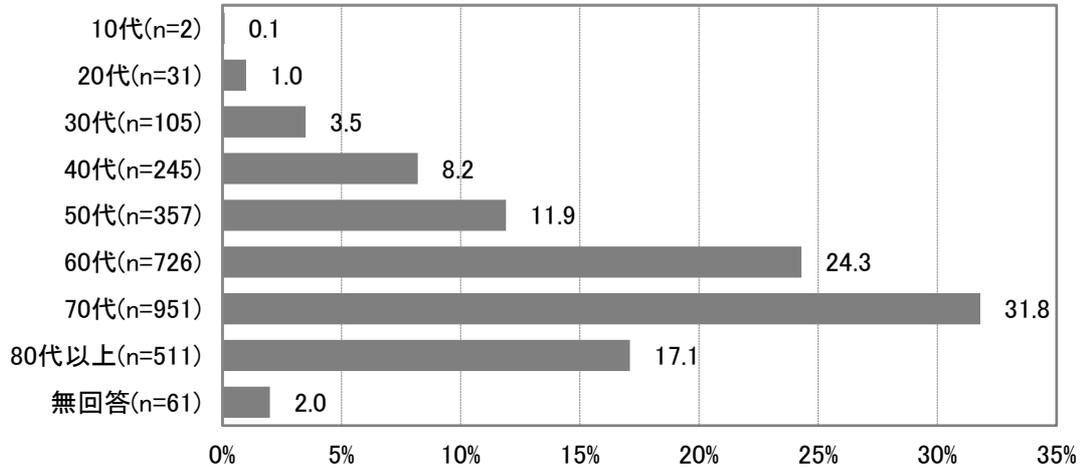


## 回答者について

世帯主の年齢 (N = 2,989)

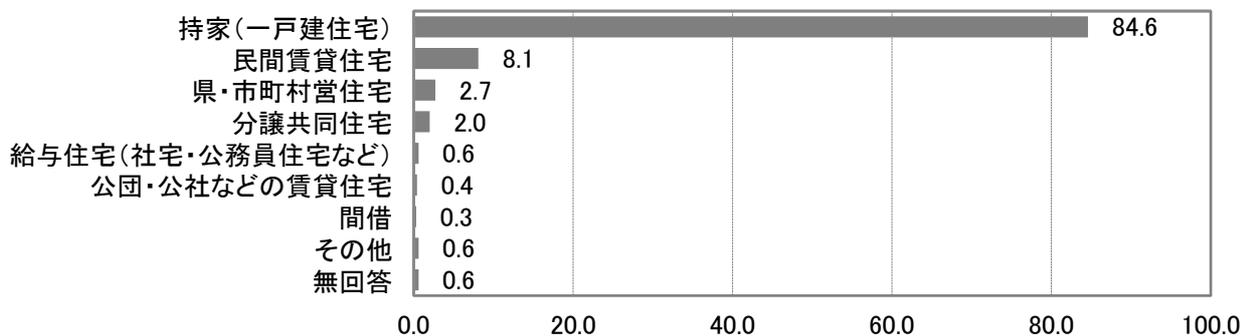


## I 住まいの住宅の状況

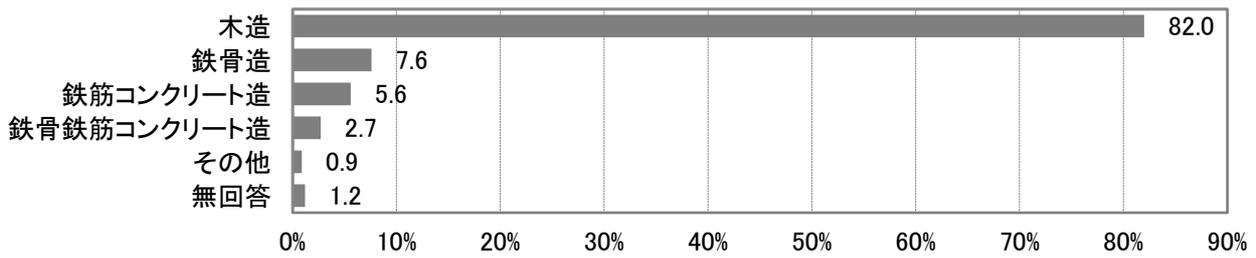
### お住まいの住宅の状況について(問1~7)

住宅の種類は「持家(一戸建て住宅)」が 84.6%、構造の種類は「木造」が 82.0%、建築時期(増改築時期)は「昭和 46~55 年」が 19.0%と最も高い。世帯収入額は「100~300 万円」が 29.7%、同居人数は「2人」が 32.7%、世帯の同居者の年齢は「60 歳以上」が最も高く、省エネルギー設備の設置は「二重サッシ、複層ガラス」が 31.0%、次いで「自然冷媒ヒートポンプ電気給湯器(エコキュート)」が 28.7%となっており、約6割の住宅で省エネ設備が設置されている。冬期の入浴時の湯の温度では「42℃」が 32.3%と最も高かった。

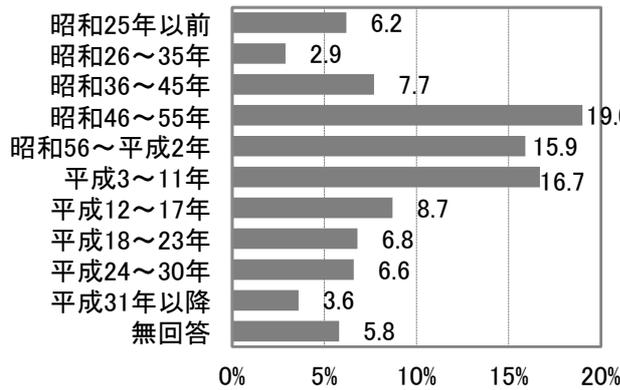
問1 どんな住宅に住んでいるか (N = 2,989)



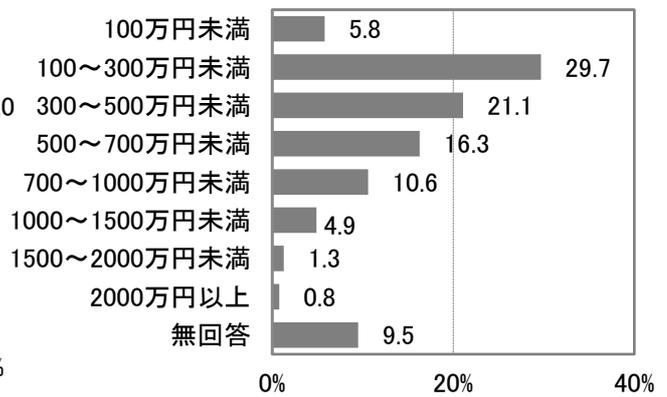
問2 どのような構造の住宅に住んでいるか (N = 2,989)



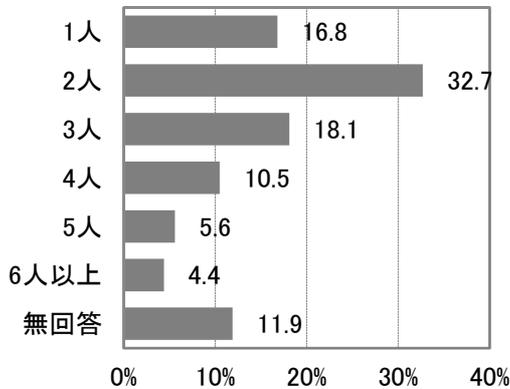
問3 住宅を建てた時期 (N = 2,989)



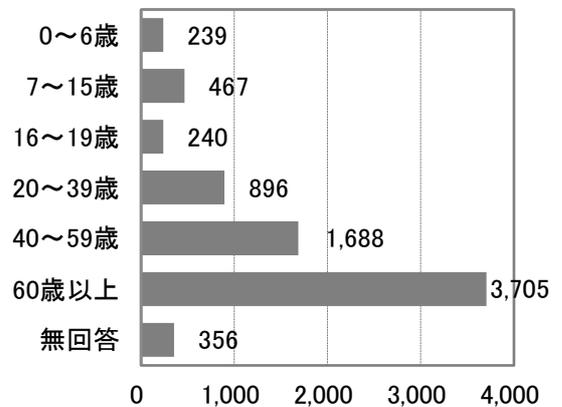
問4 世帯全員の1年間の収入額の合計 (税込み) (N = 2,989)



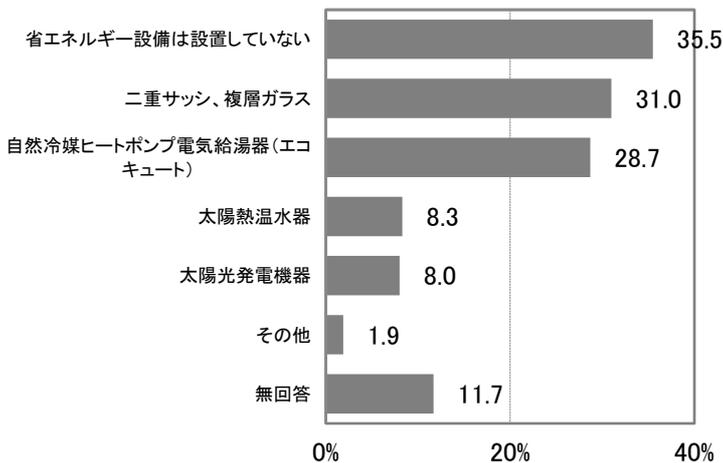
問5 世帯人数 (N = 2,989)



問5 世帯の同居者の年齢別内訳 (複数回答)



問6 住んでいる住宅に、設置されている省エネルギー設備(1つ〇) N = 2989



問7 冬季における入浴時の浴槽の湯の温度(1つ〇) (N = 2,989)

